令和８年度

第１回水戸市立図書館協議会

日　時　令和８年８月４日（火）　午後２時 00 分～
場　所　東部図書館　視聴覚室

次　第

１　開　　会

２　委員紹介

３　正副委員長選出

４　会議録作成署名人の選出

５　議　　題

（１）令和７年度図書館利用状況について

（２）令和７年度指定管理者制度導入館事業実施状況について

（３）学校図書館支援事業の実施状況について

（４）令和８年度指定管理者事業計画について

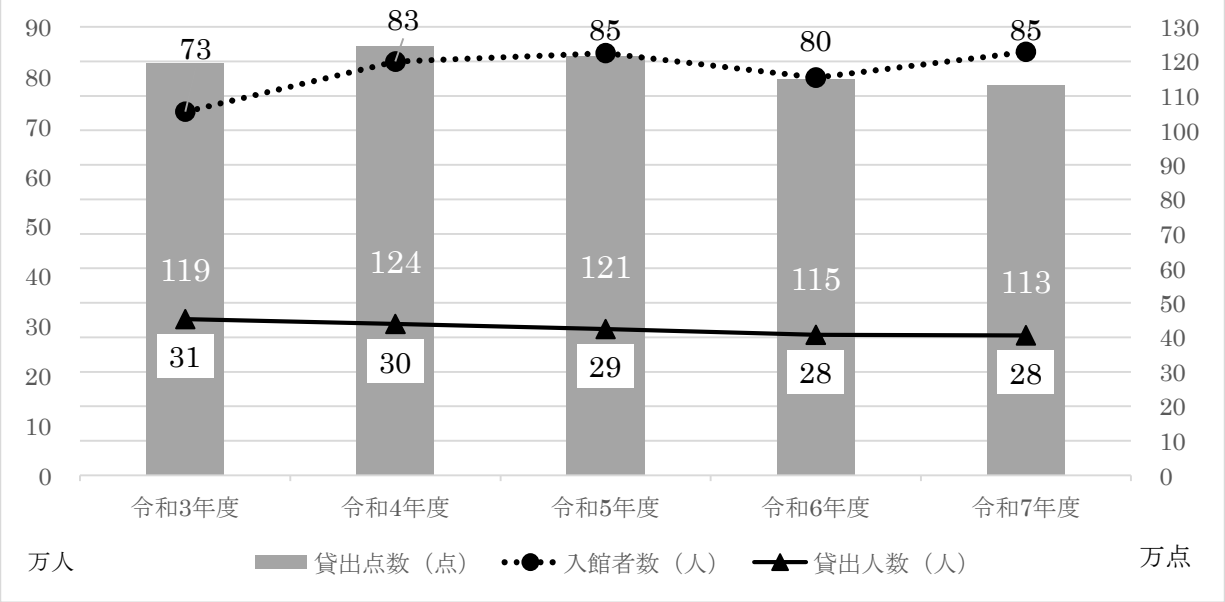
（５）令和７年度図書館運営の状況に関する点検及び評価について

（６）（仮称）南部図書館の整備・検討状況について

（７）その他

６　閉　　会　　※会議終了後に図書館内を御案内いたします。

（１）令和７年度図書館利用状況について



１　入館者数、貸出人数、貸出点数

項目　＼　年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
入館者数（人）	729, 735	830, 571	847, 135	798, 510	849, 776
貸出人数（人）	284, 833	303, 783	293, 767	282, 031	281, 038
貸出点数（点）	1, 194, 970	1, 243, 922	1, 213, 283	1, 147, 745	1, 131, 172

※　令和６年９月～令和７年１月　西部図書館は空調設備工事のため休館

２　イベント等の開催状況

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
開催回数（回）	412	616	652	781	1, 071
参加人数（人）	8, 327	12, 365	11, 463	16, 546	16, 203

（ア）全館で実施したイベント

一日図書館員（令和７年５月）

小学生読書マラソン 2025（令和７年７～８月）

調べる学習コンクール in みと（令和７年７～９月）

書店員と図書館員のＰＯＰ交換展示（令和７年 10 月 27 日～11 月９日）

３　親子で絵本事業

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
配布人数（人）	702	1, 506	1, 300	1, 240	993

（２）令和７年度指定管理者制度導入館事業実施状況について

※ 指定管理者（(株) 図書館流通センター）による独自サービス

１　電子図書館

小中学校まとめ利用登録を 24 校分受付けた。

まとめ利用登録の周知により登録者数が増加し、登録した小学生がアクセス数制限なしのコンテンツを小学校で利用したことで、閲覧数の大幅な増加につながっている。

区　　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
貸　出　数（点）	5,209	11,601	16,236	28,326	25,446
閲　覧　数（点）	13,750	31,290	60,056	128,866	173,559
新規登録者数（人）	1,322	3,303	4,957	4,307	3,281
コンテンツ数（点）	8,425	8,454	8,329	8,543	8,594

２　音楽配信サービス（ナクソス・ミュージック・ライブラリー）

区　　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
利 用 件 数（件）	4,426	5,463	6,207	7,026	5,977

３　デジタルアーカイブ・システムＡＤＥＡＣ

・第６回歴史講座「水戸市立図書館デジタルアーカイブで見る水戸の空襲」開催

（令和８年３月）

・博物館の所蔵資料を活用した「水戸の空襲」他掲載（令和８年３月）

区　　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
閲 覧 回 数（回）	17,048	28,163	24,303	19,496	16,300

４　育児コンシェルジュ

区　　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
読み聞かせ（件）	2,470	2,304	2,588	2,362	2,381
絵本の紹介（件）	4,973	4,610	4,942	4,201	4,076
簡易な育児相談（件）	45	87	125	58	56
その他問合せ等（件）	1,379	1,201	1,176	1,032	953

５　託児サービス

区　　分	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
利 用 件 数（件）	712	1,444	1,295	1,236	1,274

６　図書館コンサートの開催

・ヘルマンハープコンサート（令和７年９月　常澄）（令和７年 12 月　西部）
・ウクレレコンサート（令和７年 10 月　常澄）
・オカリーナコンサート（令和７年 10 月　内原）
・ＬＨＡ（咲良おにいさん　音楽コンサート）（令和７年 11 月　東部）
・レ・ミラ　アコースティックコンサート（令和７年 12 月　西部）
・見川中学校吹奏楽部アンサンブルコンサート（令和７年 12 月　見和）

７　関係団体との連携事業

・水戸芸術館
出前講座「クラシック音楽へのお誘い」（令和７年 12 月　見和）
出前講座「大岡昇平コレクションレコードコンサート」（令和８年２月　東部）
・市動物愛護センター
「動物愛護週間 映画上映会・パネル写真展」（令和７年 11 月　見和）
・市内原高齢者支援センター
「うちとしょ い～ばしょ」全３回（令和７年６月、９月、令和８年３月　内原）
・茨城県立歴史館
出前講座「江戸時代の女子旅　第２弾」（令和７年 12 月　内原）
その他、市こども政策課、市高齢福祉課、市民センター等と連携事業を開催。

８　図書館まつりの開催

・西部図書館において「図書館まつり」開催（令和７年 12 月）
（過去の開催　平成 29　東部、平成 30　西部、令和元　内原、令和２　見和、令和３　常澄、令和４　全館、令和５　内原、令和６　東部）

９　バリアフリー映画会の開催

・こどもバリアフリー映画会（令和７年４月　西部）

10　子どもに薦めたい本紹介

・「育児コンシェルジュのミニミニおはなし会」（通期　東部）
・「ちょこっとクラフトの会(仮)」（通期　西部）

・「えほんであそぼう SDGs でおもちゃづくり」（通期 常澄）
・「どこどこきのこ」（令和７年 11 月 東部）

11　バラエティー豊かな児童向けサービス

・調べることは楽しい（さがしものイベント）
「本で調べてこたえよう！SDGs ってなあに？」（令和７年４月～５月 東部）
「読書チャレンジ in 内原」（令和７年６月 内原）
「ポプラディア★チャレンジ」（令和７年６月 常澄）
「調べる学習パズルでクイズ」（令和７年６月～７月 西部）
「調べる学習☆ビンゴ 2025」（令和７年７月～８月 見和）
・多文化を知るおはなし会
「いろんなことばのおはなし会」（令和７年８月 東部）（令和８年１月 常澄）
・SDGs 工作教室
「SDGs 工作会」（令和７年 12 月、令和８年１月 見和）
「SDGs を体験！新聞紙を使ったエコ工作をしよう！」（令和７年５月 東部）

12　ＹＡ（ヤングアダルト）サポーター育成

東部図書館（５名）
・手作りＰＯＰやメッセージを添えた展示（通年）
・活動報告「Ｙサポ通信」作成・掲示
・ＹＡサポーター募集の黒板によるイラスト作成
・大人のボランティアと連携した行事への参加
・工作会の実施

西部図書館（１名）
・お話会の実施
・工作会の実施

見和図書館（６名）
・ＹＡコーナーのプロデュース
・ブラインドブックの作成・展示
・地域、館種を超えた交流とイベントへの参画
・行事・ワークショップのサポート

常澄図書館（２名）

・東部ＹＡサポーターとの交流、行事の合同参加

・おはなし会への参加

・フルートやギター演奏披露とおはなし会の実施

・育児コンシェルジュと連携

内原図書館（１名）

・ＹＡコーナーの整架・おすすめ本の選書

・イベント準備のサポート

13　各地区館の特色ある自主事業の展開

・隣接する公園など、近隣の環境に沿った行事（東部）

「公園観察会」（令和７年５月、11 月）

・高齢者向けの行事（西部）

「終活セミナー」３回連続講座（令和７年９月～10 月）

・地域のことを知る行事（見和）

座談会「見川地区の昔と今の話を聞く会」（令和８年２月）

・郷土資料を生かした行事（常澄）

郷土史講座「戦国時代の江戸氏と常澄地区」（令和８年１月）

・「がん情報ギフト」冊子の配布（国立がん研究センター寄贈）（内原）

医療講座「大切な人が「がん告知」されたら？その時私は」（令和８年３月）

14　図書館を使った調べる学習事業

ワークショップや個別相談会を実施し、調べる学習に取り組むお子さんを支援した。「第３回　図書館を使った調べる学習コンクール in みと」を開催し、38 作品の応募があり、24 作品を表彰した。受賞作品から２作品を全国コンクール、第 29 回「図書館を使った調べる学習コンクール」（応募総数 127,456 作品、小学生の部 94,777 作品）に推薦し、奨励賞と佳作を受賞した。

推薦「笠原水道　昔と今」（奨励賞）

推薦「給食のひみつ大はっ見!!」（佳作）

・「見つけよう！調べる学習のタネ」（令和７年７月　東部・西部・見和・常澄・内原）

・「親子ワークショップ　２回連続講座」

（令和７年７月～８月　東部・西部・見和・常澄・内原）

・「調べる学習個別相談会」開催（令和７年７月～９月　東部・西部・見和）

・「第３回　図書館を使った調べる学習コンクール in みと」表彰式（令和７年 11 月）

15　指定管理者への評価

令和３年度から指定管理者制度導入の第２期が始まり、第１期に引き続き、株式会社図書館流通センターによる管理運営が行われた。令和７年度の利用状況は貸出点数が前年度より減少したものの、入館者数は高い水準を維持しており、電子図書館の利用数も大幅な増加が見られた。これにより、利用者のニーズが「滞在型の利用」や「非来館型サービスの活用」などへ多角化していることがうかがえる。

育児コンシェルジュの配置、託児サービスの提供などの育児支援や、図書館まつり等の行事の開催等の継続した取組により、利用者アンケートにおいて総合的な満足度に約９割の方から肯定的な回答が寄せられている。

電子図書館については、学校授業のＩＣＴ化支援として各小学校へのＰＲを継続したことで、小学校から継続的な利用登録申請があり、事業の定着化が見られた。アクセス数無制限の「読み放題パック」の充実を図り、閲覧数は前年度の 1.4 倍近く増加した。

ＹＡサポーター育成では、今年度よりすべての指定管理館において登録者が確保された。サポーターからの積極的な提案により、おはなし会等の事業への参加や工作教室等の開催が実現するなど、主体的な活動が展開された。

今後とも、指定管理者と継続的な協議のもと、事業計画策定の際に、本市図書館の運営方針、基本計画及び個別計画を具現化した事業展開について連携を図り、継続事業の拡充、新たな事業の実施により、更なる市民サービスの向上による魅力的な図書館づくりを推進する。

16　指定管理者利用者アンケート意見

指定管理者の評価のため、行政経営課主管で利用者アンケートを毎年実施している。施設の利用しやすさに関する項目に関する利用者の意見に対する、各館の対応を示す。

東部

３　貸出、返却、予約申込等の利用しやすさ	
予約した本が、なかなか届かない。	予約待ち多数の資料を除き、在架状態のものはその都度資料を確保し、週２回の搬送便で確実に提供できるように努めています。また、所蔵館へのお問い合わせでお急ぎの際は、在架状態に限り２日以内の貸出について従来通り対応しています。
５　設備・備品の使いやすさ	
ロッカーで使えないものが多い。使われていないようだが修理するといい。	以前調査を行いましたが修繕には同型の部品が調達できない事情等があり、現状回復が難しい状況です。改善に向けて検討してまいります。

マップに記載されているジャンルをもう少し目立たせても良いと思う。本の番号は分かりやすいので、このままにしてほしい。	検討してまいります。

西部

５　設備・備品の使いやすさ	
暗い、何処にいるのかわからなくなる。本探しにくい。	要望があったところへは照明を取り付けており、今後も対応してまいります。館内案内の掲示につきましても、今後も改善してまいります。
６　施設内の案内表示	
駐車場から、館内入口への案内がもう少しほしかった。少し入口を探してしまった。	駐車場に館内入口方向を示す表示を取り付けます。

見和

１　施設の整理、清掃状況	
閲覧席の汚れがひどいので年１回くらい拭いてほしいです。 施設外壁のクモの巣が気になった。	清掃の徹底及び館内巡回の強化を心掛けていきます。
２　職員の応対	
マスクをしているので聞きづらいです。	毎年接遇研修等を行っておりますが、その上で、利用者に寄り添った対応を徹底してまいります。
５　設備・備品の使いやすさ	
場所や天気によって照明が暗く感じることがあります。	建物の構造上、暗くなってしまう場所ができてしまっておりますが、改善について検討してまいります。

常澄

９　その他自由意見	
おすすめの本があったら、もっと推してほしい。 年代別（小学生学年別）のおすすめコーナーがあるといいなと思います。	現在月替わりで展示コーナーを４か所設けております。また、未就学児向けの本は「よみかたりコーナー」に、ＹＡ世代向けには「ＹＡコーナー」を設置しています。小学生はそれ以外の児童コーナーとなっております。小学生向けの水戸市おすすめ本はチラシを設置しています。

内原

１　施設の整理、清掃状況	
本の場所が分かりづらい。	書架案内図など改善に向けて取り組んでまいります。
９　その他自由意見	
新刊書がもっとほしい。 時代小説を多くしてほしい。	市立図書館全館で蔵書構築を図っております。引き続き資料の充実に努めてまいります。

（３）学校図書館支援事業について

１　令和７年度小・中学校図書館巡回支援の取組について

ア　蔵書冊数の増減

（単位：冊）

	令和６年度末	購入	寄贈	除籍	令和７年度末
小学校	341,998	8,172	3,406	4,473	349,103
中学校等	196,327	5,854	1,383	1,997	201,567
合計	538,325	14,026	4,789	6,470	550,670

イ　図書購入に係る選書のアドバイス

・図書の見本会（ブックフェア）の開催支援、案内
・選書案リストの作成
・教職員・児童生徒の要望に応じた図書の提案

ウ　学校図書館支援員だよりの発行

小学校向け　年６回（隔月）
中学校向け　年６回（隔月）
※内容により、関連するブックリストやパスファインダー（調べもの案内）も発行

エ　レファレンス及び学習支援

レファレンス	856 件	（489 件）
ブックトーク	8 回	（16 回）
読み聞かせ	204 回	（90 回）
オリエンテーション	182 回	（151 回）
授業支援	62 回	（79 回）

（　）は令和６年度末の実績

その他（授業やイベントに関連する本の選定支援、学級文庫の入替えの支援、図書委員会へシステム操作説明や活動へのアドバイス、テーマ展示、授業利用時の貸出返却・本探しのサポート等）

オ　蔵書点検（新）

６月～７月（１校）　飯富中にて試行
夏休み　　（７校）　常磐小、柳河小、寿小、堀原小、大場小、双葉台中、石川中
※５年で 48 校を一巡予定

カ　学校図書館支援事業に関するアンケート結果（令和８年２月実施）

質　　問	回　　答	
今年度の事業の総合的な満足度について	○とてもよかった	40 校（ 83%）
	○よかった	６校（ 13%）
	○よくなかった	０校（ 0%）
	○無回答	２校（ 4%）
訪問回数について（３週間に２回程度）	○多い	０校（ ０%）
	○適当	45 校（ 94%）
	○少ない	３校（ 6%）
支援員の支援についてよかったこと（複数回答可）	○図書室の展示	35 校（ 73%）
	○学級文庫の入替	30 校（ 63%）
	○図書館を利用した授業支援	30 校（ 63%）
	○オリエンテーション	29 校（ 60%）
	○学習に関する本収集	27 校（ 56%）
今後希望する支援内容（複数回答可）	○ブックトーク	15 校（ 31%）
	○図書室の展示	15 校（ 31%）
	○先生向けの図書館研修	15 校（ 31%）
	○図書委員会活動へのアドバイス	14 校（ 29%）
	○本のリスト作成	14 校（ 29%）

（対象：市立小中学校・義務教育学校 48 校）

キ　学校図書館支援事業に係る他自治体視察

日　時　　令和７年９月 25 日（木）　午前 10 時から 12 時 30 分
視察先　　ひたちなか市立田彦中学校
参加者　　副館長、担当職員
内　容　　司書教諭補助員について

ク　学校図書館ボランティア向け研修会の実施

日　時　　令和７年 10 月３日（金）　午前 10 時から 12 時
場　所　　中央図書館　３階　視聴覚室
講　師　　中央図書館職員
参加者　　８名（小学校ボランティア８名）
内　容　　本の修理と装備の基本

ケ　学校図書館支援員研修会（新）

日　時　　令和８年２月 27 日（金）　午前 10 時から午後３時
場　所　　中央図書館　３階　視聴覚室
講　師　　オフィスみちねこ代表　木下通子氏
参加者　　13 名（学校図書館支援員９名ほか）
内　容　　講義「学校図書館で活躍できる学校司書になろう」
　　実践「授業で役立つワークショップを体験しよう」

２　令和８年度の主な取組

ア　支援員の学校配置開始（令和８年９月～）

・学校での業務時間の増加　　4.5 時間→ 7.5 時間（＋３時間）

イ　学校図書館の利用及び読書活動の促進

・レファレンスや読書相談の実施
・読み聞かせやブックトークの実施
・オリエンテーション（図書館の使い方）の開催支援
・学校図書館を活用した授業の実施支援
・学級文庫や授業に関連する図書の選書・入替の支援
・学校図書館支援員だより等の発行
・図書展示、別置コーナー作り
・テーマ別図書リスト等の作成
・図書委員会などの活動へのアドバイス

ウ　学校図書館の円滑な運営の促進

・学校図書館運営に関する提案、助言
・蔵書管理システム操作説明、活用のサポート（教職員、図書委員会の児童生徒）
・学校図書館ボランティア向け研修会の開催

エ　学校図書館環境の充実

・蔵書点検
・学校図書館の環境整備（掲示・表示、整架）、図書の修理
・購入・除籍図書の選書アドバイス
・選書支援（ブックフェアの案内等）
・寄贈本などのデータベース化作業

（４）令和８年度指定管理者事業計画について

１　指定管理者（㈱図書館流通センター）の職員体制について

地区館５館（東部・西部・見和・常澄・内原）の職員数（令和８年４月１日時点）

館長５人、副館長５人、業務責任者６人、一般スタッフ 34 人

計 50 人

２　開館日数について

開館日数　東部 298 日　西部 298 日　見和 291 日

常澄 291 日　内原 291 日

３　指定管理者が行う管理業務について

ア　基本的な図書館管理業務（管理業務仕様書に規定）

（ア）図書館における図書館資料の整理、保存及び提供に関すること

・図書館資料の貸出、返却等業務

・レファレンスへの対応

（イ）図書館の事業の企画運営に関すること

・行事の実施

（ウ）図書館の維持管理に関すること

・施設、設備の保守点検及び軽微な修繕

（エ）その他図書館の管理上必要と認めること

・館内施設（視聴覚室、会議室他）の利用貸出等

イ　指定管理者によるサービス

（ア）電子図書館の発展

・児童書コンテンツの導入や郷土資料の追加掲載

・雑誌購読サービス（ＴＲＣ－ＤＬマガジン）の継続

（イ）デジタルアーカイブ・システムＡＤＥＡＣの利用促進

・市の歴史資料等のデジタル化、インターネット公開

・関連する講座の開催

（ウ）育児コンシェルジュ、託児サービスの継続

・広報活動による利用者層の拡大

・関連行事の実施

（エ）ＹＡサポーター事業の拡充

・図書紹介ＰＯＰの作成、書架の装飾等の中高生ボランティア育成

・行事への参加、自主的な発表会等による世代間交流の創出

・各館ＹＡサポーターの交流と募集

（オ）移動図書館の運用

・移動図書館車両の導入（約 500 冊積載、オリジナルラッピング仕様）

・距離的な問題や身体的な事情などで、来館が困難な方々へのサービスの充実

・イベントへの参加、読み聞かせ・出張展示による図書館活動のＰＲ

（カ）図書館を使った調べる学習事業

・「第４回　図書館を使った調べる学習コンクール in みと」の開催

・児童向けに調べる学習コンクール作品制作を支援する講座やワークショップを開催

（５）令和７年度図書館運営の状況に関する点検及び評価について

１　目標指標及び実績について

目標指標	令和５年度 現況	令和７年度		令和８年度 目標	令和 10 年度 目標
		実績 （目標）	達成率 （%）		
個人貸出し点数	1,213,283 点	1,131,172 点 （1,230,000 点）	92.0	1,230,000 点	1,270,000 点
個人貸出し実人数 （有効登録者数）	24,163 人	23,146 人 （25,000 人）	92.6	25,000 人	28,000 人
中央図書館団体貸出し回数	127 回	142 回 （130 回）	109.2	145 回	150 回
児童書の個人貸出し冊数	531,531 冊	467,832 冊 （536,000 冊）	87.3	536,000 冊	550,000 冊
学校図書館における児童生徒一人当たりの貸出し冊数　※	小学校　7.7 冊 中学校　0.9 冊	小学校　7.0（11）冊 中学校　1.2（1.2）冊	63.6 100	小学校　14　冊 中学校　1.5 冊	小学校　20 冊 中学校　2 冊
郷土に関するレファレンス事例のデータベース登録・公開件数（累計）	411 件	654 件 （460 件）	142.2	700 件	800 件
図書館ボランティアが参加した事業の回数	921 回	972 回 （1,000 回）	97.2	1,000 回	1,200 回
図書館の入館者数	847,135 人	849,776 人 （860,000 人）	98.8	870,000 人	900,000 人

※ 小学校には義務教育学校前期課程を含み、中学校には義務教育学校後期課程を含む。

２　目標達成率について

令和７年度目標指標の項目数	9
達成率 100%以上の項目数	3
80%以上 100%未満の項目数	5
80%未満の項目数	1

３　目標達成率の評価について

令和７年度の評価については、目標達成率 100%以上となった項目が３項目、80%以上となり概ね達成した項目が５項目となった。また、目標達成率 80%未満で改善を必要とする項目は１項目であった。

令和７年度においては、各図書館において市民の生活や学びに役立つ資料を収集し、探

しやすい書架づくりに努めるとともに、様々な世代の関心やニーズに応じた資料を選び、企画展示を行った。また、小学生読書マラソン、書店とのＰＯＰ交換展示、常磐短期大学生によるおはなし会の開催などの地域と連携した取組の実施により入館者数が増加するなど、８項目において目標達成率80%以上につながったと考えられる。

改善を必要とする項目については、こどもの人口減少に伴う児童書の貸出数の減少や、読書環境のデジタル化の影響を受け、図書の貸出利用が伸びなかったことなどの要因により目標の達成に至らなかったと考えられる。

今後も多様な学習機会を提供するためには、デジタル資料だけでなく紙の図書利用も必要なため、移動図書館を使用した団体貸出などを実施し、市民の生活や学習活動に役立つ資料の収集、魅力ある書架づくりを進め、さらに地域と連携しながら、市民の自主的な学習活動の支援に努めていく。

（６）（仮称）南部図書館の整備・検討状況について

現在、人口が増加している県庁周辺地区を含む南部地域に、（仮称）南部図書館を整備することを検討している。

１　（仮称）南部図書館整備検討に関する有識者会議について

ア　設置目的　　人口増加が進む南部地域における生涯学習の拠点として、時代のニーズに即した新たな図書館の整備検討を進めるため、（仮称）南部図書館整備検討に関する有識者会議を設置する。会議では、地域住民のほか、子育て支援、まちづくり、地域振興、図書館情報学、デジタル、商工業の各分野の専門家７人から、より多くの利活用が図られる未来を向いた図書館とするためのアイデアを広くいただく。

イ　委　　員　　別紙のとおり

ウ　任　　期　　令和７年５月から令和８年３月まで

エ　会　　議

区分	開催日	議事
第１回	令和７年５月 27 日	現状と課題
第２回	令和７年８月８日	図書館の役割・コンセプト
第３回	令和７年 10 月７日	図書館サービス、まちと図書館のつながり
第４回	令和７年 12 月 22 日	施設規模と立地、デジタル・ＤＸ化
第５回	令和８年２月 17 日	会議のまとめ

オ　提 言 書　　別紙のとおり

２　（仮称）南部図書館整備基本構想について

本市図書館の現況や市民ニーズを整理・分析するとともに、新たな図書館サービスの方向性や導入機能、施設規模等を含めた（仮称）南部図書館の基本的な考え方を示し、将来にわたり市民に親しまれ、利用満足度の高い魅力ある図書館づくりを推進するため、「（仮称）南部図書館整備基本構想」を令和８年度に策定する。

今後、基本構想の基礎資料とするため、市民アンケート調査や市民ワークショップなどを行い、市民の意見を聴取していく。

（７）その他

水戸市立図書館協議会委員名簿

【任期：令和 10 年７月 14 日まで】

（順不同敬称略）

氏　　名	選出区分（団体・役職等）
鈴 木　　浩 志	学校教育関係者 （下大野小学校長）
清 水　　敏 子	社会教育関係者 （市社会教育委員）
川 又　　宏 文	社会教育関係者 （市青少年育成推進会議副会長）
山 岸　　純 子	社会教育関係者 （市ＰＴＡ連絡協議会会長）
川 又　　総 江	一般市民（公募）
大 橋　　広 子	社会教育関係者 （朗読の会こだま）
山 口　　操 子	社会教育関係者 （もこもこの会）
齊　藤　　恵	家庭教育関係者 （子育て応援・ペンギンくらぶ代表）
田 口　　美 博	学識経験者 （市障害者（児）福祉団体連合会副会長）
木 内　　令 子	学識経験者 （ＮＰＯ法人Ｍ・Ｉ・Ｔ・Ｏ21 理事）
髙 池　　宣 彦	学識経験者 （常磐大学　准教授）
中 山　　健 一	学識経験者 （茨城キリスト教大学　教授）
龍　田　　理	学識経験者 （元図書館職員）
滑 川　　友 理	市議会代表
黒　木　　勇	市議会代表

（仮称）南部図書館整備検討に関する有識者会議委員名簿

（順不同　敬称略）

分　野	氏　名	所　属
地域住民	大竹（おおたけ）　隆志（たかし）	水戸市住みよいまちづくり推進協議会 副会長
子育て支援	平野（ひらの）　弥生（やよい）	ＮＰＯ法人水戸こどもの劇場 副代表理事
まちづくり・都市政策	田中（たなか）　耕市（こういち）	青山学院大学　経済学部　教授
地域振興	畑山（はたやま）　一郎（いちろう）	株式会社未来技術研究所　代表取締役
図書館情報学	岡部（おかべ）　晋典（ゆきのり）	株式会社図書館総合研究所　主任研究員
デジタル・ＤＸ	林（はやし）　文（あや）	株式会社ユードム システムインテグレーション事業部
商工業	加瀬（かせ）　理（まさる）	水戸商工会議所　事務局長

※令和８年２月 17 日現在

令和８年３月19日

水戸市長　　高　橋　　靖　様

（仮称）南部図書館整備検討に関する有識者会議
座長　　岡　部　晋　典

（仮称）南部図書館の整備検討について（提言）

当会議におきましては，（仮称）南部図書館（以下「新図書館」という。）の整備検討について，地域住民のほか，子育て支援やまちづくり，地域振興，図書館情報学，デジタル技術，商工業に関わる者の立場から，様々な意見を交わしました。

南部地域は人口が著しく増加していますが，こどもや高齢者が読書や学習のために通える施設が不足しています。さらに，中高生や不登校児が利用できる第三の居場所づくりのほか，希薄になった地域住民の交流を促し，子育て支援の充実を図り，孤立・孤独を防ぐための対策が強く求められています。

このような課題の解決と地域の生涯学習環境の向上のためには，南部地域に図書館を整備することが必要であると考えます。

それを踏まえ，今後の事業推進に当たり，下記のとおり意見を提出いたしますので，本意見を十分に考慮し，事業に取り組むよう要望いたします。

記

１　新図書館の重点課題

⑴ 図書館の枠を超えたライブラリー

既存の「図書館」という固定観念にとらわれず，交流，創造，遊びなど多様な要素を含んだ**未来志向の「ライブラリー」**を目指すこと。

⑵ こどもが気軽に利用できる図書館

南部地域では，こどもの数が増えている一方で，こどもの居場所となる施設が限られているため，**こどもがアクセスしやすく，利用しやすい図書館**を目指すこと。

(3) 市民が学び，交流できる図書館

図書館の資料や講座を利用して，市民がそれぞれの学びを深めるとともに，イベントやボランティア活動を通して，市民が交流し，情報交換を行い，それぞれの**課題が解決できる図書館**を目指すこと。

2　新たな図書館に期待する役割とサービス

(1) こどもや若者の居場所づくり

ア　学校や家庭以外の第三の居場所として，小学生から高校生までの**こどもや若者が安心して過ごせる空間**を提供すること。また，こどもや若者が気兼ねなく利用できる，おしゃべり可能な空間やグループ活動の部屋を設けること。

イ　将来への不安や様々な悩みを抱えるこどもや若者が，本や人との出会いを通じて新たな可能性に気づき，**自らの未来を考えるきっかけを創出する場を提供し**，水戸市の未来を担う人材を育成すること。そのため，読書や勉強を十分できる空間を設けること。

ウ　こども同士の遊ぶ機会の低下やこども会の解散等により，こども同士の関係が希薄化している。そのため，学校や学年の枠にとらわれることなく，イベントや講座において，**こどもたちが交流する機会**を提供すること。また，こどもたちが自ら考えたことを実行できるような学習室や講座を提供すること。

エ　こどもが来館したくなるよう**こどもの遊び場**を設置するとともに，昔話や手芸，お手玉，工作などの，**ボランティアと触れ合える講座**を実施すること。

(2) 子育て支援

ア　こども会の加入率低下や解散等により，保護者が子育てに関する情報をなかなか得られなくなっている。そのため，イベントや講座において，保護者同士に限らず，**子育てに関わる者同士の交流の機会**を設けること。

イ　南部地域には，子育て世帯が多いことから，子育てから離れ，調べものや読書を楽しむための**託児サービス**を提供すること。また，いつでも気軽に子育ての悩みを解決できる**育児相談サービス**を提供すること。

ウ　保護者等が気兼ねなく声を出して乳幼児に読み聞かせを行うことができるとともに，**乳幼児の自由な活動を受け止める場**を提供すること。

(3) 高齢者が生きがいを持てる図書館

ア　高齢者の増加に伴い，その活躍が期待されることから，読書や講座を通じた**高齢者の学びの機会**を提供すること。

イ　高齢者が社会とのつながりを持つため，新図書館において，配架や講師などの**ボランティア活動の機会**を提供すること。

ウ　高齢者が読書し，休息をとり，ほかの人と交流するため，サロンやカフェなど，**高齢者が安心できる空間**を設けること。また，健康相談が受けられるようにすること。

エ　スマートフォン端末やタブレット端末が普及し，情報検索が容易になっているが，これらの扱いに慣れない方もいる。そのため，スマートフォン端末の使い方やアプリの利用方法を学ぶ講座を設けるとともに，地域の情報を集約し，**情報格差の解消支援**を行うこと。

⑷ たて・よこ・ななめの交流機会の提供

ア　こどもの心の成長を促進するため，絵本の読み聞かせを行うほか，職員やボランティアの声掛けなどを通じて，**親子が触れ合う機会**を提供すること。

イ　こども同士，高齢者同士など，**同じ境遇にある者同士が交流するための講座や空間**を設けること。

ウ　社会性を育み，失敗を乗り越える方法や多様な人間関係を学べる機会を提供するため，**こどもや若者が，親や学校の先生以外の大人と関わるイベントや講座**を設けること。

エ　高齢者が社会的役割や生きがいを持てるよう，**高齢者がその知識や経験をこどもに伝える**とともに，**高齢者も若者やこどもから得られるものがあるような機会**を創出すること。

⑸ 誰もが使いやすい施設設備

ア　車椅子専用席のような特定の区分けをあえて設けず，高齢者，障害者，こどもなど，**誰もが直感的に利用できる，ゆとりのある空間**を確保すること。また，多様な人が同じ空間を共有できる環境をつくること。

イ　災害時に聴覚障害者に対する避難誘導を円滑に行えるようにするとともに，来館者や地域住民を守るための**防災拠点**とすること。

⑹ デジタル技術による利便性の向上

ア　スマートフォン端末等が普及し，キーボード入力が難しい方がいるため，タブレット端末の設置に努め，**大きな文字表示を用いた情報検索**や**従来のキーボード入力に頼らない情報検索**ができるようにすること。

イ　デジタル技術の導入による**業務の効率化によって時間を生み出し**，その時間を，利用者との対話や企画立案など，人にしかできない業務に充てること。

ウ　デジタル技術を活用して**利用者の利便性を高める**こと。また，ＡＩを含めたデジタル技術による新たなサービスの導入を検討すること。

例　①　読書への興味を喚起するために貸出や閲覧の記録を可視化するサービス

②　座席の利用状況や空間の混雑状況を表示するサービス

③　手ぶらで貸出が可能となる顔認証システム

④　家族分のカード一括管理でき，返却期限等の通知機能もあるスマホアプリ

⑤　読まれている図書を可視化するデジタルサイネージ

(7) 多様な来館者が利用しやすい空間づくり

ア　こどもを連れて気兼ねなく来館できるよう，**会話や環境音が許容される空間づくり**を目指すこと。他方で，静かに過ごせる空間とは，緩やかな棲み分けを図ること。

イ　空間づくりや利用のルールづくりについては，**市民とともにつくりあげる**こと。禁止事項は最小限にとどめ，自由で市民に開かれた施設にすること。

(8) 特色あるイベントや講座等の推進

ア　こどもにとって，成功体験や失敗体験が重要であることから，地域の自然や文化に触れるとともに，ものづくりなどの**体験ができるイベントや講座**を実施すること。特にデジタル化が進む中で，人との対話や温かみを感じられるサービスが重要であるから，対面での交流や創造的な活動など，五感を使った体験価値を提供すること。

イ　新たな図書館が**地域の情報と行動の起点**となり，近隣の文化施設，公園，自然環境などを線や面で結び，街全体の回遊性を高めること。

ウ　デジタル化が進む社会において，ＡＩとの共生を深めるため，**ＡＩと図書館の資料を使った情報教育**を推進すること。

エ　**生涯学習の発表の場**として，館内で演奏できるステージや自由に使えるピアノを設置すること。

(9) 多くの人が立ち寄り，市の魅力を発信する図書館

ア　市の歴史・文化・観光資源などを展示・紹介することにより，地域住民のみならず，旅行者から注目されるような**高い発信力**を有すること。また，映画やミュージックビデオ等のロケの誘致に協力し，多くの来館者が訪れるような**ブランド力**を有すること。

イ　**イベント情報をまとめて展示**し，イベントと人を結びつけるほか，**地域の情報を集約**し，居住地域やその周辺の情報が得られる仕組みを構築すること。

ウ　シェアサイクル**「みとちゃり」ステーションを設置し**，市民や観光客を来館しやすくするほか，多言語案内表示に努めること。

３　新図書館の規模と立地

(1) 規模の検討と可変性の確保

ア　**新図書館の機能を明確にする**ほか，先進事例を参考にして，その機能に必要な施設規模を算出すること。

イ　当面は南部地域における子育て世帯の増加に対応した施設とするが，20年，30年先の将来の人口構造の変化などの**社会の変化に柔軟に対応できる可変性のある空間**とすること。

ウ　整備に当たっては，図書館の課題を洗い出すとともに，利用者の動向や社会の変化を予測し，**図書館全体で効率的で効果的な運営**を目指すこと。

(2) 既存施設の検討

ア　建設コストの縮減や早期の供用開始を図るため，南部地域の**既存施設の転用について検討**すること。

イ　運営費削減や利用者増の観点から，図書館以外の施設との**複合施設とすることについて検討**すること。

(3) 安全なアクセス

ア　車社会である地域特性を踏まえ，**駐車場の広さを十分確保する**とともに，悪天候でも利用しやすくすること。

イ　新図書館まで**徒歩や自転車で安全に通える**こと，路線バスでも行きやすいことを十分に考慮して立地を選定すること。